

# な～るほど! リサイクル

みなさんは、自分の家から毎日どれくらいの「ごみ」が出るか、知っていますか？

4人家族なら、だいたい4キログラム(平均)。



4日で東京ドームをいっぱいにしてしまう量が、日本中の家から出てきます。

でも、なんでこんなに多いのでしょうか。

飲み終わったPETボトルやガラスびん、食品やティッシュの空き箱、



包み紙、スーパーの空きトレイ、レジ袋、シャンプーや洗剤の空きボトル……そう！

じつは家庭  から出るごみの **60%** が容れものや包むもの、  
\*容積で見た場合

「容器」「包装」に使われたものだったのです。

これをなんとか減らさないと大変だ——ごみの処分場(埋め立て場所)は足りなくなってくるし、

なによりも容器や包装の原材料になる石油や木材などがどんどん使われていく。

とくに石油の  **99%** 以上、木材の  **50%** 以上を輸入にたよっている日本では、

とても深刻な問題なのです。

そんな、私たちの未来の暮らしを守るために、

ぜひ知ってほしいキーワードがあります。合い言葉は、「連携プレー」。

あっ、レジ袋は  
ありません。

リサイクル  
できるものを  
選びます。

「中身」だけ  
ください。



# 買うとき。

大型ショッピングセンターやスーパー、コンビニ。

いつものお店も、ちょっと見方を変えれば、「新しい発見」がいっぱい。

みなさんの良く知っている会社も、みなさんの身近な人が勤めている会社も、いま、こぞってスリーアールを進めています。そして、みなさんが今日からできるスリーアールは、店頭でレジ袋やブックカバーなどを断ったり、Myバッグを持参したり、シャンプーなどの詰め替え容器を繰り返し使ったり、そして…家族みんなで「リサイクルのサポーター」になることなのです。

## 買ものは Myバッグで



みんなでMyバッグを持ち歩けば、年に300億枚のレジ袋が節約(リデュース)できるんです。

リデュース

レジ袋はいりません

## 過剰包装は Noサンキュー



unnecessary wrapping paper, boxes, book covers... お店で「いりませんっ!」と断れるあなたがカッコイイ。

リデュース

## くりかえし使える ガラスびん



牛乳びんやビールびんは、リユース(くりかえし使うこと)の優等生。飲み終わったびんが、お店→工場→お店→またまた皆さんのもとへ帰ってきます。

リユース

## 詰め替え容器を利用しましょう



シャンプーや洗剤の空きボトル、そのままポイとはもったいない! お店で「中身」だけ買って、また詰めて、くりかえし使いましょう。はい、ボトルも喜んでいます。

リユース

## 身のまわりのリサイクル製品をチェックしてみませんか?



リサイクルして生まれたびん、缶、そして文房具、シャツ、ネクタイ…よく見れば、リサイクル製品がいっぱい(→04ページ)。お店で「リサイクル」と書かれたモノをいくつ探せるか、そんなゲームは、いかが? ★リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)。この3つの頭文字をとって「3R」(スリーアール)と呼びます。

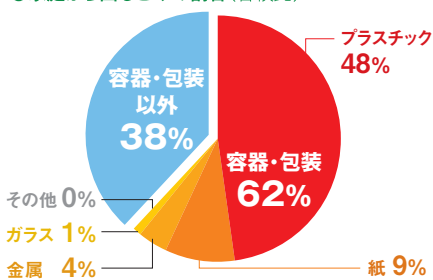
リサイクル

### なぜ、スリーアール?

私たちのくらしから出るごみの量は、1年でおよそ3,000万トン。なかでも、60%と飛びぬけて多いのが容器ごみと包装ごみです。(容積で見れば)

そこで、容器ごみと包装ごみを減らすために「容器包装リサイクル法」という法律がつけられました。この法律では、スリーアールを進めるために、①事業者(つくる人・売る人)、②消費者(使う人=みなさん)、③市町村(回収する人)それぞれの役割が書かれています。なかでも、「事業者」には、自社でつくったものや売ったものの量に応じてリサイクル費用を負担するなどの「義務」があり、もしそれを破ると「罰則」を受けなければなりません。

### ●家庭から出るごみの割合(容積比)



### PET ボトルが 軽くなったワケ



飲料メーカー Aさん

まず、PETボトルの材料が節約できますね。また簡単につぶせるので、ラベルをはがして分別しやすくなる。結果、リサイクルが進むのです。もひとつ言えば、ボトルを運ぶ車のガソリンも少なくてすみ、そのぶんCO<sub>2</sub>が出なくなります。

### レジ袋が 有料になった!



大手スーパー Bさん

「Myバッグでご来店ください!」とお願いしても、つい忘れてしまうお客さま、多いんですね。たかがレジ袋。でも、日本全体で見れば大量のレジ袋。買い物に行く時は、「バッグ持った?」を口癖にするといいですよ。

### スマート ラッピング



都内デパート Cさん

りっぱな箱を、さらに包んで、手ざげ袋へ…そんな過剰(かじょう)包装を減らそう! という「スマートラッピング」を全国で進めています。シンプルに手ばやく包めば、お客さまのイライラ待ち時間だって解消(リデュース?)できます。

### 洗う力を ギュッと…



洗剤メーカー Dさん

濃縮して、いれものを小さくします(少ない洗剤で、たくさん洗える)。すると、いれものをつくる材料も、ゲンと少なくてすむですね。もちろん、詰め替え用の洗剤も小さく、軽～く。「中身」から、ごみを減らしていくアイデアです。



このキャップは  
♻️なの？

まだ使えるから  
とっておこうっと！

洗って、ラベルと  
キャップは別に。


ガラスびんは  
何曜だっけ？

# 捨てる前に。

家からどんな「ごみ」が出ているのか、今日さっそくチェックしてみませんか?  
(それを一週間続けると、いろいろなことが見えてきます)

なんでこんなに多いんだろう? どうすれば減らせるんだろう?  
…そんなソボクな疑問を、家族や友人と話し合ってみては、いかが? たとえば、あなたの街と友だちの街では、ごみの分け方のルールや回収日が違っていたりします。なぜ、街によってルールが異なるのでしょうか? また、出したごみは、どのようにリサイクルされるのでしょうか? そんな、新たな「?」も生まれてくるはずです。

## 汚れたままではダメですよ!

洗う、取る(ラベルやキャップ)、  
つぶす。これが第1のポイント。  
「洗う」のは中の汚れを落とすため。  
「取る」のは材料別に分けるため。  
「つぶす」のは運びやすくするため。  
★洗っても中がきれいにならないものは、と一緒に出してはダメですよ



## 捨てる前にもう一度考えましょう 本当に捨てるもいいですか?

この箱や缶、なにかに使えるかな? きれいなガラスびんは花瓶に。PETボトルは水筒に。そうそう、空き缶やキャップを集めて工作なんかも…捨てる前に、ぜひひもう一度!

## きちんと分けて(分別)出しましょう



捨てればごみ、分ければ資源…さあ、ここが運命の分かれ道です。みなさん、もうひとガンバリ! ちなみに分別のしかたは、あなたの街のルールにしたがってくださいね。

## 出す日、出す場所を守りましょう

Calendar						
日	月	火	水	木	金	土
不燃ごみ	可燃ごみ	資源ごみ	可燃ごみ			



最後のポイントは、出す日、出す場所をきちんと守ること。  
(スーパーの回収BOXから直接集める街もあったり、要注意!)

## きちんと分けて出すと…

あなたの街が責任をもって引き取り、それをリサイクルを仕事とする会社へ渡します。やがてふたたび、色々なリサイクル製品へ…

- ガラスびん  
ガラスびん、その他(舗装用骨材、タイル、ガラス短繊維など)
- PETボトル  
繊維(ユニフォーム、スポーツウェア、自動車の内装材)、フィルム・シート(卵パック、プラスチックバック)、ボトル(飲料用・洗剤用)など
- 紙製容器包装  
段ボール、板紙、家畜用敷料、固形燃料など
- プラスチック製容器包装  
プラスチック製品(物流用パレット、建材、車止めなど)、熱分解油(燃料油など)、高炉還元剤、コークス炉化学原料、合成ガス(石油化学原料、燃料)、固形燃料など

## 家庭でのアイデア

家庭ごみの多さ、その種類の多さは、自分で分別してみないと実感できません。そこで提案! ごみ出しを週ごとの“当番制”にします。家族みんなが責任をもって、分別・確認&ごみ出し完了までを行えるようになれば、きっとそれこそが最高の「環境教材」に。



## 地域のユニークな取り組み

Y商店街では、街中に空き缶やPETボトルの回収機を設置。それもお客さんが容器を入れるたびに、お店のサービス券が出てくるゲーム感覚の回収機。「楽しくて、お店ももうかるリサイクル」と大評判です。みなさんの街でも、こんなアイデアいかがでしょうか?



## 学校でリサイクル教育

各班を“一家”に見立てて分別ゲーム(T小・家庭)、街のリサイクル工場でワーク体験学習(K中・社会)、企業や環境NPOの人々による出前講座(K小/中)…など、各地の教室でユニークな授業が進行中。





きちんと分別。

地域のルールを  
守りましょう。

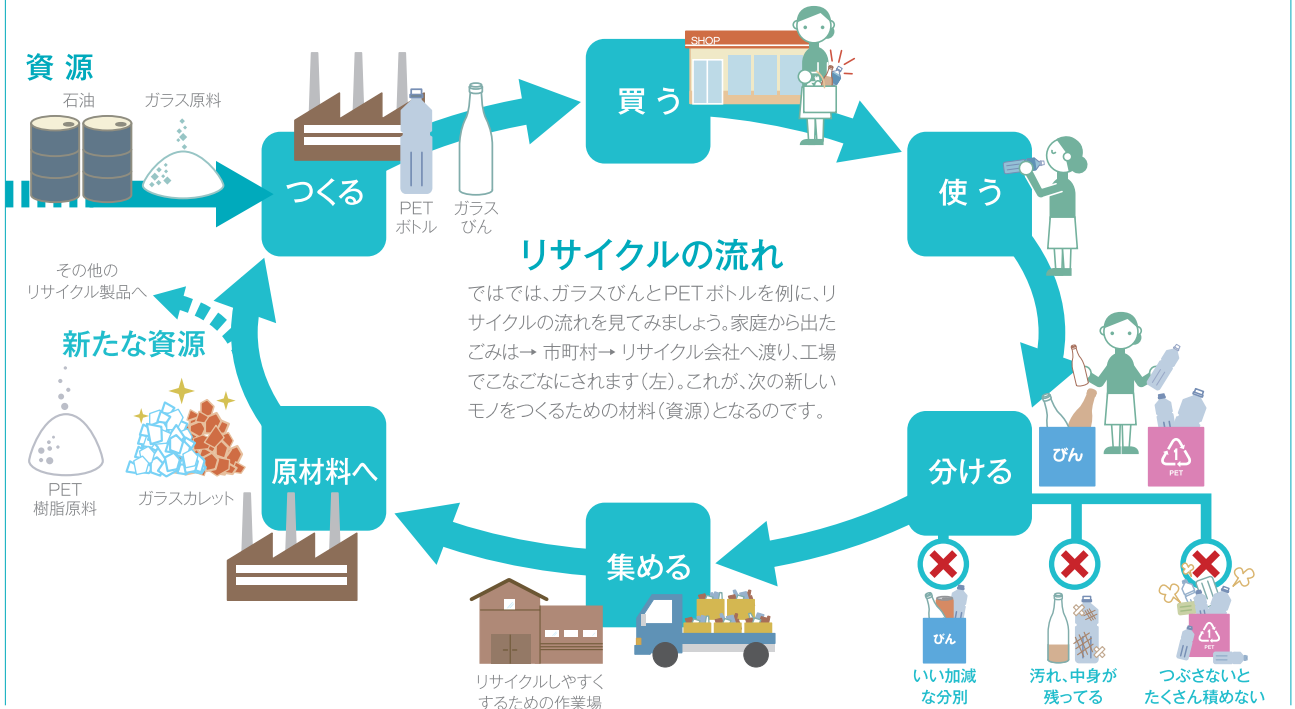
キレイに洗って  
中身も残さず  
お願いします。



# 回収後のゆくえ。

ごみの回収車が行き着いたのは、街の作業場。ここではまず、リサイクルできないものを取り除いたり、きれいに洗い直したり、つぶしてコンパクトにしたり、という仕事が行われます。

なぜか？といえば、集めたごみを、リサイクルを仕事とする会社に引き渡すためなんです。ガラスびん、PETボトル……それぞれを担当するリサイクル会社の工場で砕(くだ)いたり溶(と)かしたりして、また新しいものをつくるための「原材料」へと生まれ変わらせます。でも、回収したごみに汚れや異物が混じていると、品質の良い「原材料」をつくることができません。そこで、家庭でササッと洗って、きちんと分別すること(みなさんの協力)が、ぜひ必要になってくるのです。



## あなたの街でも、分別収集

分別収集を行っている市町村は、もうこんなにたくさん。なかには実施率100%目前！という品目も。

●分別収集を実施している市町村(品目別%)

ガラスびん	ガラスびん	95%
PET	PETボトル	99%
紙	紙製容器包装	35%
プラ	プラスチック製容器包装	76%
スチール	スチール缶	98%
アルミ	アルミ缶	97%
段ボール	段ボール	91%
紙パック	紙パック	74%

出典:容器包装リサイクル法に基づく市町村の分別収集等の実績について(平成29年度:環境省)

## あなたの街のルールは？

ごみの分け方・出し方は街によって違うことがあります。何種類かに分ければOKの街もあれば、数十種類に細かく分ける街もあって、いろいろ。あなたが住まいの街のホームページや、各家庭に配られるチラシなどでチェックしてみましょう。



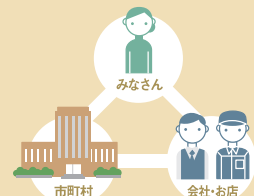
## 「その先」は、どうなる？

ごまごまにされたガラスびんやPETボトルは→容器をつくる工場に買い取られて→新しいボトルに→ふたたび中身を詰め→お店→みなさんが買う→またまた分けて出す……という風に循環(じゅんかん:ぐるぐる回ること)していきます。



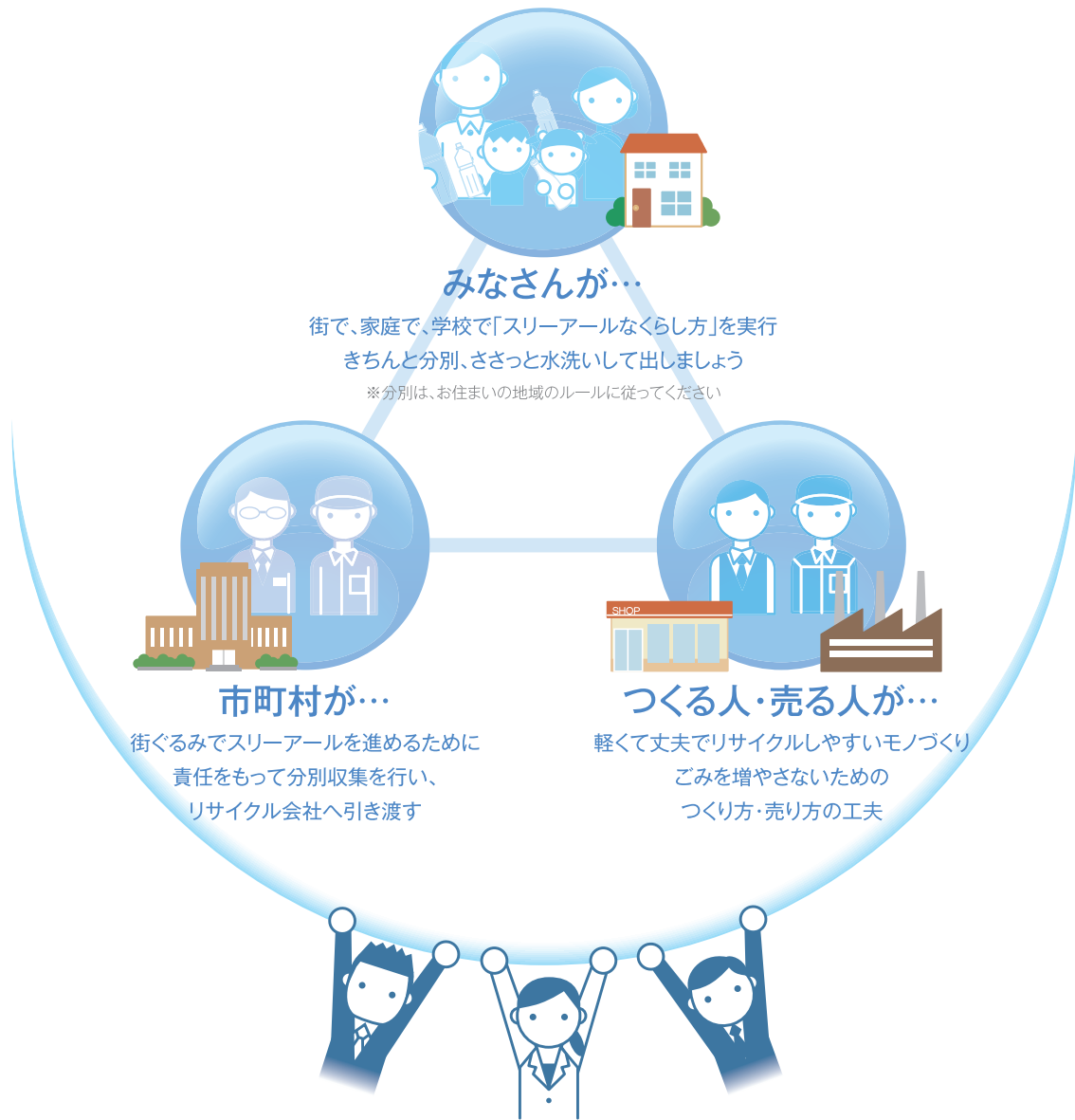
## みんなで連携！

リサイクルって、とても身近なことだったんですね。私たち一人ひとりが頑張らないと、リサイクルの環(わ)がブツリと切れてしまう理由、ナツクイだけでしたか？ここでは会社もお店も、市町村も、そしてみなさんも、1つのチームなのです。



# 合い言葉は、連携プレー。

「つくる人・売る人」「市町村」「みなさん」の連携プレーが、  
ごみのない、ゆたかな未来をつくるのです。



## 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

容器・包装がリサイクルされるよう費用の管理や  
リサイクルの環(わ)づくりの役割を担っているのが私たち。  
容器包装リサイクル法とともに生まれました。



ごみを生み出さないように、  
不要なものを買わない、  
もらわないようにしましょう。



まだ使えるものは、  
捨てないで、  
何度もくりかえして使おう。



捨てるときは、きちんと分けて洗って、  
大切な資源として  
生まれ変わりやすいようにしましょう。

※この3つのRでスリーアールと呼びます。